

一般団体の取組紹介



人と動物の共生センター

人と動物を切り離さない支援で、孤独・孤立を生まない地域づくりへ
認定NPO法人 人と動物の共生センター 鳥取支部の取り組みをご紹介します。

認定NPO法人 人と動物の共生センター



人と動物が共に暮らす中で生まれる社会課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることのできる社会

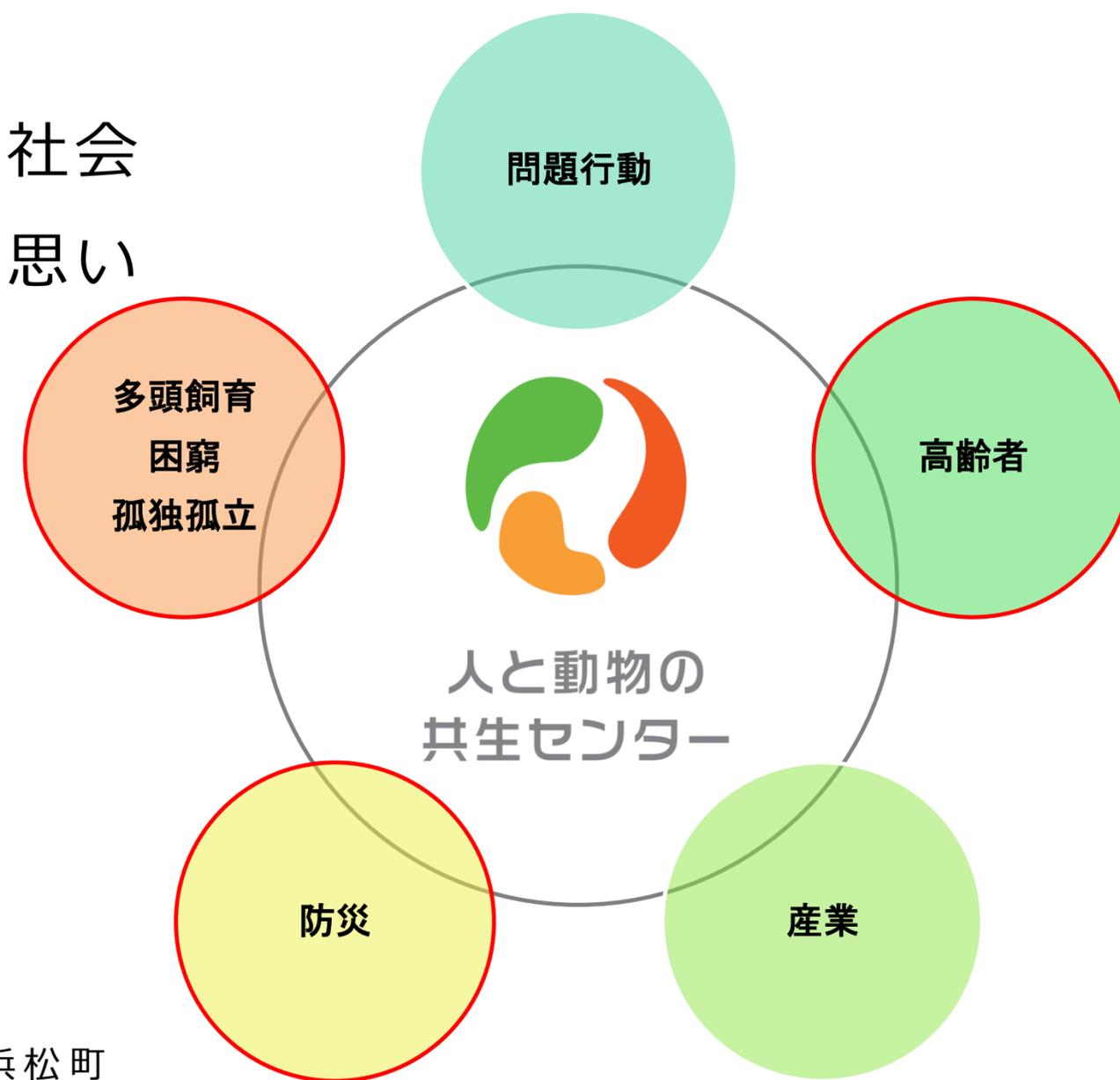


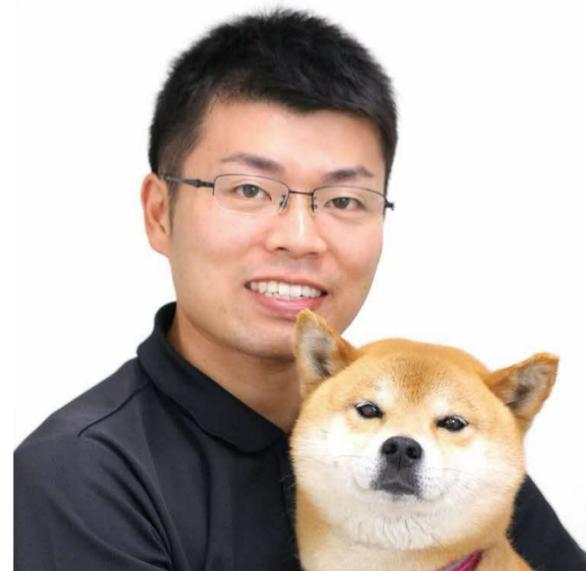
- ・ 飼い主の周囲の方
- ・ 飼い主自身
- ・ 動物たち

2012年設立

本部：岐阜県岐阜市

支部：鳥取県智頭町／東京都大田区／静岡県浜松町





理事長 奥田順之(おくだよりゆき)

獣医行動診療科認定医

鹿児島大学共同獣医学部 講師 (動物行動学)

帝京科学大学 講師 (ペット共生学)

認定NPO法人人と動物の共生センター 理事長

NPO法人 全国動物避難所協会 理事長



松本温子(まつもとあつこ)

引き取り手のない犬猫がいなくなる社会を目指し、
医療・福祉・地域支援者と連携しながら活動。

自己紹介

認定NPO法人人と動物の共生センター 理事・鳥取支部長
鳥取県防災会議委員／鳥取県動物愛護推進協議会委員
とっとり災害支援連絡協議会理事／防災士／愛玩動物飼養管理士

鳥取支部が力を入れている 取り組み

ペット防災

災害時の孤立予防を目的とした取り組みです。ペットが理由で避難をためらうことがないように、平時から備えと連携の仕組みを作ります。

- ・ 避難訓練の実施と支援
- ・ ペット同行避難の啓発
- ・ 地域の受け入れ体制づくり

多頭飼育
困窮
孤独孤立

孤独・孤立の中で動物に安息を求め、繁殖制限を行わないまま飼育を続けた結果、多頭飼育崩壊に至るケースがあります。

この問題は動物だけでなく人への支援が不可欠であり、孤独に寄り添い、適切な飼育環境を整えるお手伝いをします。

高齢者

将来不安の軽減を目指した支援です。「もしものとき、ペットはどうなるのか」という不安に寄り添い、安心して暮らせる環境を整えます。

- ・ ペット後見制度の相談・支援
- ・ 飼育継続のためのサポート
- ・ 多職種との連携体制構築

連携事例① 日南病院さんとの協働

👉 プラットフォームから生まれた連携

鳥取県・日南町国保日南病院さんと連携し、「人間と動物の医療福祉を豊かにするための研修事業」に参画しています。この取り組みは、孤独・孤立対策官民連携プラットフォームへの参加がきっかけ & 県職員さんからの情報提供から実現しました。

医療・介護分野
との連携

多職種連携の
実践へ向けて

医療・福祉従事者、動物関係ボランティアや行政が、ペットを飼う患者・利用者への相互理解を深めたり、実践的な支援のありかたについて意見を出し合います



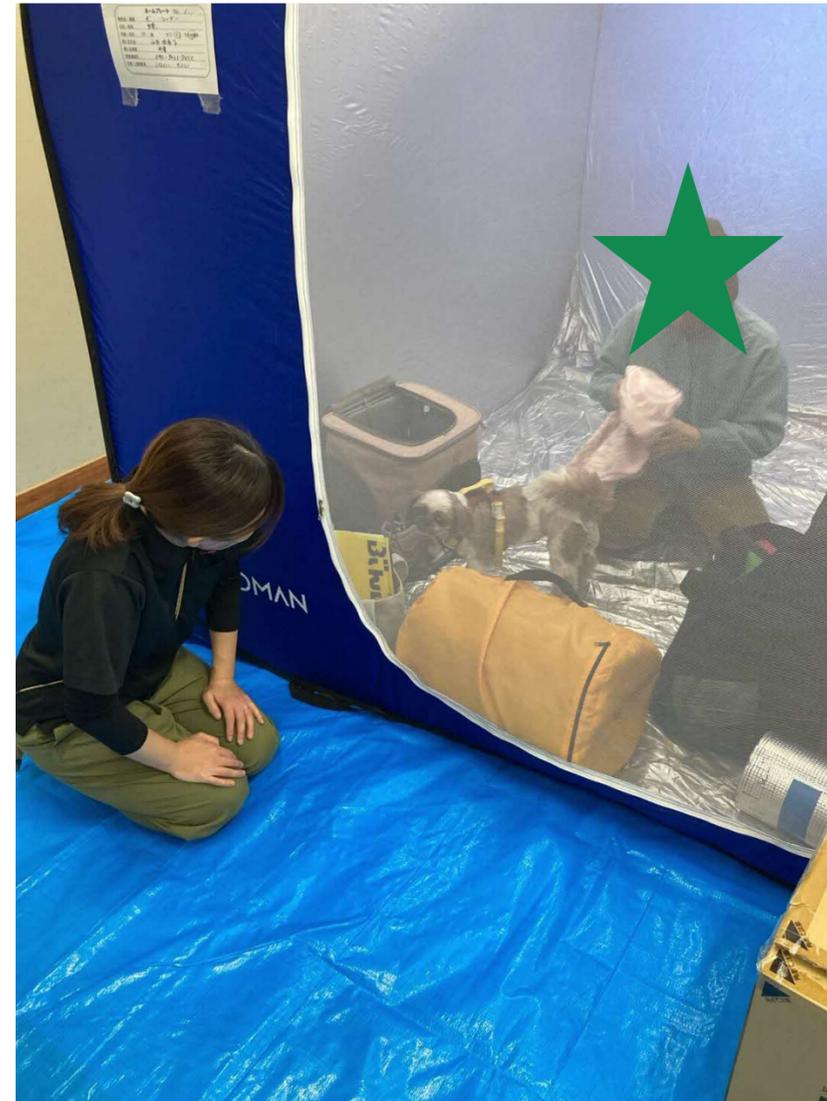
医療・介護・福祉と動物分野が一緒に学び、人と動物の暮らしを支える多職種連携を模索しています。

こうした顔の見える関係づくりが、いざというときの支援につながります。

連携事例② 避難訓練での協業

👉 プラットフォームワークショップで面識があったことから生まれた連携

鳥取県自閉症協会さん、鳥取県社会福祉協議会さんと合同で避難訓練を実施しました。障がいのある方や支援者、ペットのいる家庭も含め、誰も取り残さない避難を一緒に考える場となりました。



訓練で得られた成果

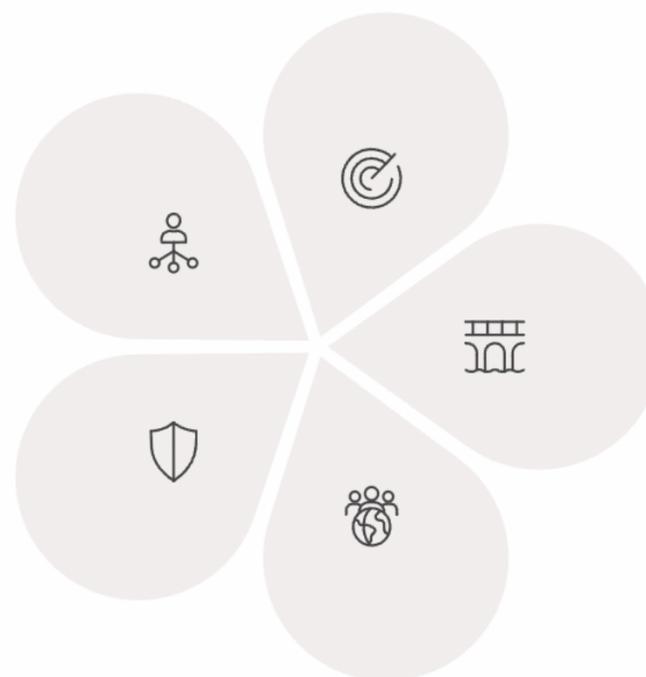
- ・ 障がい特性とペット同行の両立における配慮点の共有
- ・ 参加者同士の相互理解と信頼関係の構築
- ・ 実際の災害時に活かせる具体的な連携方法の確認

私たちがプラットフォームに期待すること

孤独・孤立対策官民連携プラットフォームは、私たちにとって大きな可能性を秘めた場です。団体単独では届かない人への支援・制度の間にある支援、分野を越えた関係づくり、そして困りごとを早くキャッチできる地域の回路。これらを実現する場として、大きな期待を寄せています。

多様な連携
福祉・医療・行政・NPOなど
様々な分野との協働

予防的支援
問題が深刻化する前の
予防的アプローチ



早期発見

孤立の兆候を早期にキャッチする
仕組み

支援への橋渡し

必要な人に必要な支援を
確実につなぐ

顔の見える関係

信頼に基づいた継続的な連携体制

このプラットフォームを通じて、連携による孤独・孤立の予防をさらに進めていきたいと考えています。人と動物を切り離さない支援の輪を、地域全体に広げていくために、皆さまとの協働を大切にしていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。